

## 「市民センター行事」の広報およびアーカイブについて（素案）

### 1. 現 状

各市民センターでは毎月、面白く魅力的な行事が多く行われている。

- ・ 各行事の情報は、地域の一部のみで完結してしまっているため、取組やその意味や価値はあまり広く知られていない。（伝わっていない）
  - ・ 地域の範囲を超えて集客を図れるポテンシャルを持つイベントであっても、幅広に広報できていない。
  - ・ 事業を終えた後に、どこにも情報が残らず、評価される機会がほとんどない。
- ➡ せっかくの取組みが日の目を見ないのはもったいない！

### 2. 目指すところ

市民センターでの行事をより多くの人に知ってもらうことで、多くの効果が得られる。

- ・ メディアに取り上げられることで、取組みが再評価される。
  - ・ 区ホームページで情報が見られることにより、取組みが可視化される。
  - ・ 取組みが可視化され、評価されることで、地域の魅力アップにつながり、実施者のモチベーションも上がる。
  - ・ 実施者のモチベーションアップにより、さらに工夫を凝らした行事が充実する。
  - ・ 結果として、参加者や利用者の増加につながる。
- ➡ 情報を整理し発信することで地域が活性化し、好循環が生まれる！かも。

### 3. 取組み(案)

#### (1) マスコミへのアプローチ

- ・ 注目行事(3～5件/1 週または2週)をピックアップし、記者投げ込みを行う。
- ・ ピックアップした注目行事は他の行事とともに区ホームページに掲載し、マスコミがネタ探しをできるよう整備する。

#### (2) 小倉南区ホームページの整備・充実

- ・ 注目行事を区ホームページに掲載し、PR を図る。
- ・ 注目行事については、実施後に当日の様子や参加者の声を掲載することで行事のアーカイブ化を行い、「やっただけ」では終わらない価値あるものとしていく。

### 4. 実施のための検討事項

- (1) 注目行事の選定方法(選定基準やレベル、選定件数をどうするか、誰が選ぶか)
- (2) 投込資料の作成(投げ込みの頻度をどうするか、マスコミに注目される見出しづくり、投げ込み資料の様式化)
- (3) ホームページの作成・更新(こまめな作成・更新、市民センターからの実施情報の提供の流れ、誰が更新するか)
- (4) 全体のスケジュール感 (➡ 次回提出期限を 8 月 8 日(金)とする。)